

テーマ	レベル	達成目標	基礎	応用	発展
			与えられたテーマ・情報源をもとにレポートを作成できる	与えられた課題に対して自らテーマを設定し、自らの意見を含んだレポートの作成・発表ができる	自ら調査・研究テーマを設定し、学術的な論文の作成・発表ができる
A	課題を認識する	課題を認識し、その解決に必要な情報の範囲を定めることができる。	高校と大学の学びの違いを理解する 課題の意図を理解する 先行研究の必要性について理解する 	課題に沿ったテーマを設定できる 自分が設定したテーマを他の人に説明できる 	自らのテーマに仮説を立てることができる テーマに対して不足している情報を認識できる
B	情報を探索する	課題を解決するために必要な情報を合法的・社会倫理的に適切に、かつ経済的・効率的に探索する計画を立てることができる。	施設を理解する 資料の種類・特性を理解する 図書資料の分類を理解する 資料の配架方法を理解する MyLibraryの機能を理解する 利用条件を理解する 学内他キャンパスの資料を利用する 著作権について理解する 	先行研究について調査できる 課題の解決に適した信頼性の高い情報源を推測できる 一つの事柄に複数の情報源で確認できる 電子ジャーナル検索を理解する 	先行研究の参考文献を活用した探求ができる
C	情報を入手する	探索計画に基づき、課題を解決するために必要な情報を適切・効率的に入手することができる。	蔵書検索システム（OPAC）を理解する 与えられた情報源を検索できる 参考・引用文献リストの情報を読み取れる 用語、事象を正しく理解する データベースを用いて情報を入手できる 	統合検索システム（Discovery）を理解する 演算子（AND、OR、NOT）を活用できる トランケーション（ワイルドカード、マスク文字）を活用できる 図書館間相互貸借を活用する 協定校の資料を利用できる 国内データベース用いて専門性を高められる 	検索手法の再設定により新たな知見を入手できる コマンド検索やシソーラス等の検索技術を駆使できる 海外データベース用いて専門性を高められる 他機関の図書館を活用する 
D	情報を分析・評価し、整理・管理する	収集した情報を批判的に分析・評価し、整理・管理することができる。	学術的な文章の要旨をまとめることができる 収集した情報を取捨選択できる 収集した情報を分類できる 	情報の信憑性を理解する 収集した情報とテーマとの関連性を評価できる 過去の情報と新たに入手した情報の違いを比較できる 資料リストを作成し管理できる 事象に関する周辺情報を調査できる 	信憑性の高い情報を選択できる 文献管理ツールを活用できる 
E	情報を批判的に検討し知識を再構造化させる	整理した情報を批判的に検討することで自らの知識を再構造化することができる。	入手した情報と自分の意見の類似点や相違点を説明できる 	自らの意見の根拠となる情報を選択できる 	自分の得た情報と他のトピックを関連付けることができる 自らの知識を再構造化できる
F	情報を活用・発信し、プロセスを省察する	社会倫理に則り、合法的に情報を活用・発信し、情報の受け手となる適切なコミュニケーションを行うことができる。また、情報活用行動全体を省察することができる。	レポートの形式を理解する 剽窃・盗用について理解する 引用ルールを正しく理解する 情報の典拠を明示できる 	適切なタイトルを設定できる 自らの意見を論理的に説明できる 図表を活用した資料を作成できる 情報倫理について留意できる 	聴き手に応じた表現、手法で情報発信ができる 学術論文の構成に沿った文書作成ができる 